

関係者各位

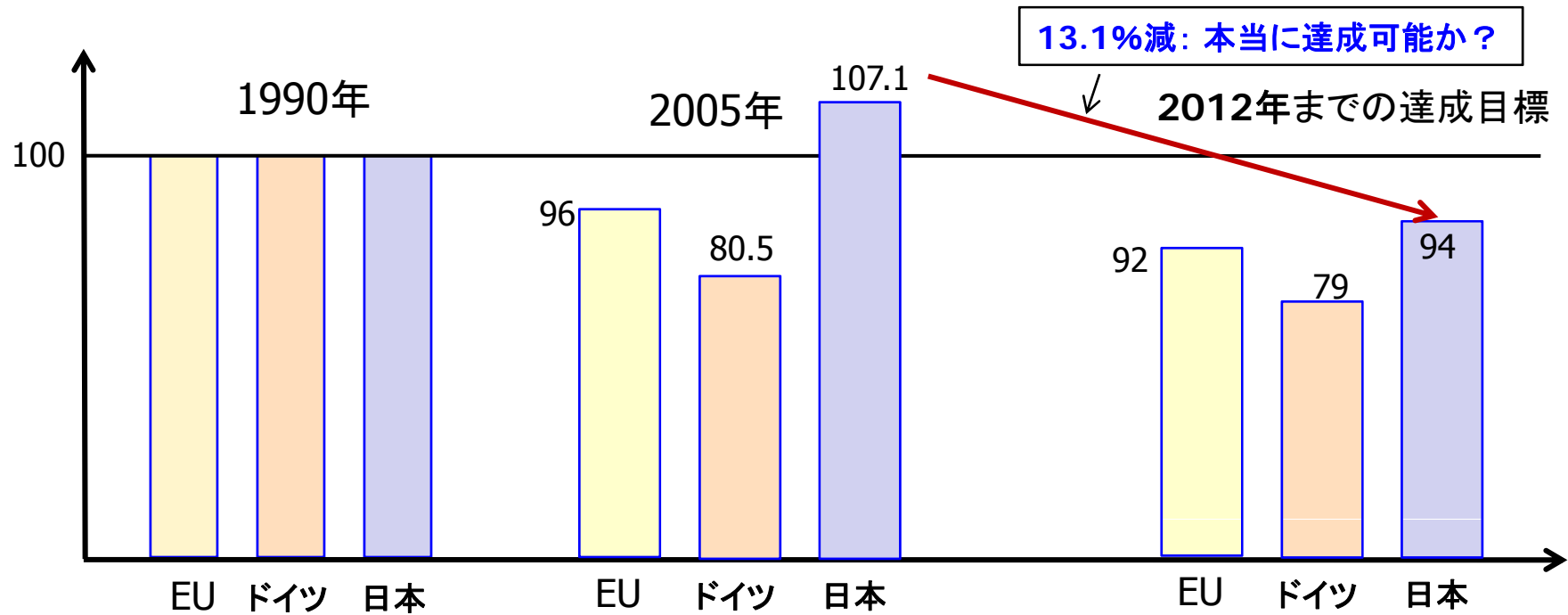
弊社が太陽光発電を推進したい理由

- 1 なぜ再生可能エネルギーなのか？
- 2 なぜ風力、バイオマスではなく太陽光発電なのか？
- 3 なぜ太陽光発電資産で金融商品をつくりたいのか？

(株)グリーンファンド

京都議定書：温室効果ガス削減の1990年比進捗状況

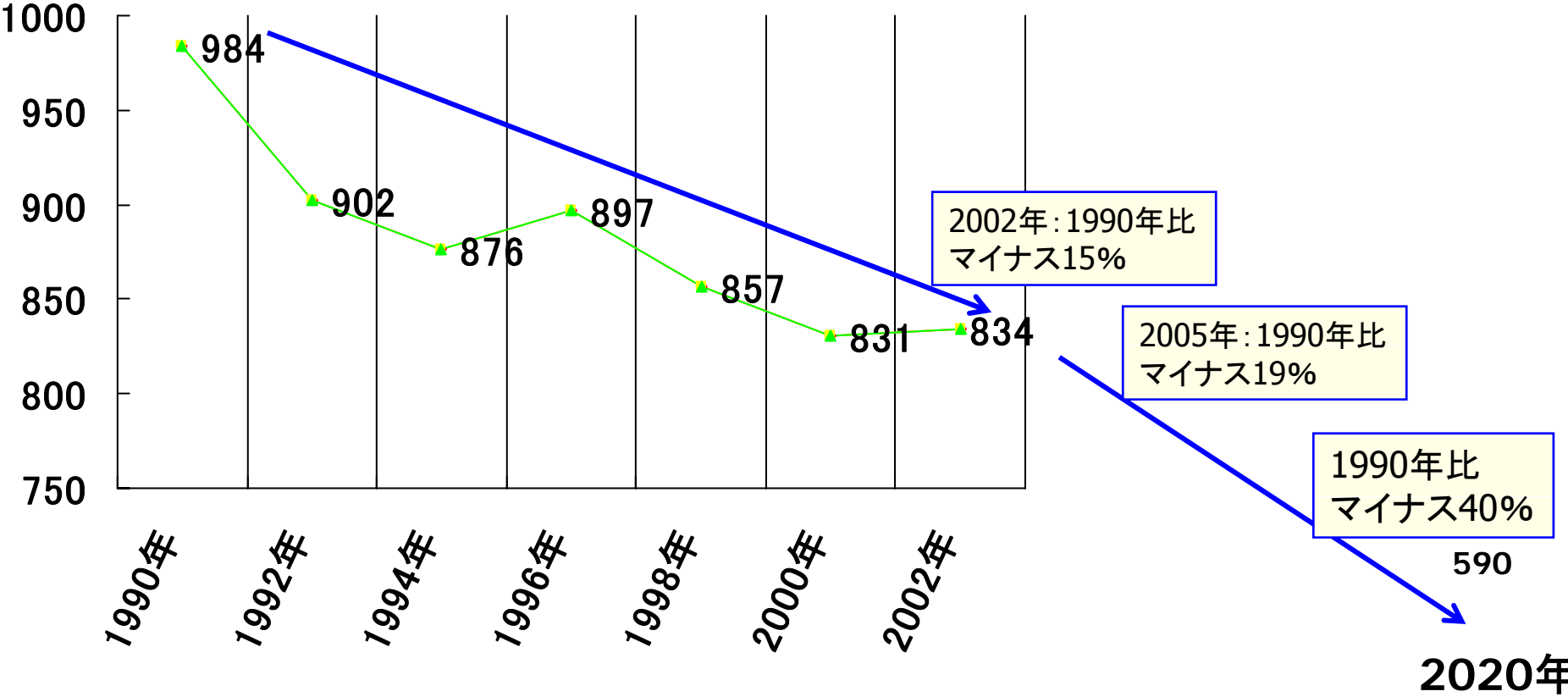
日本の目標達成の可能性は極めて危うい！！



出所：wikipedia「京都議定書」

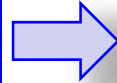
ドイツのCO2排出量の推移と目標

単位：100万トン



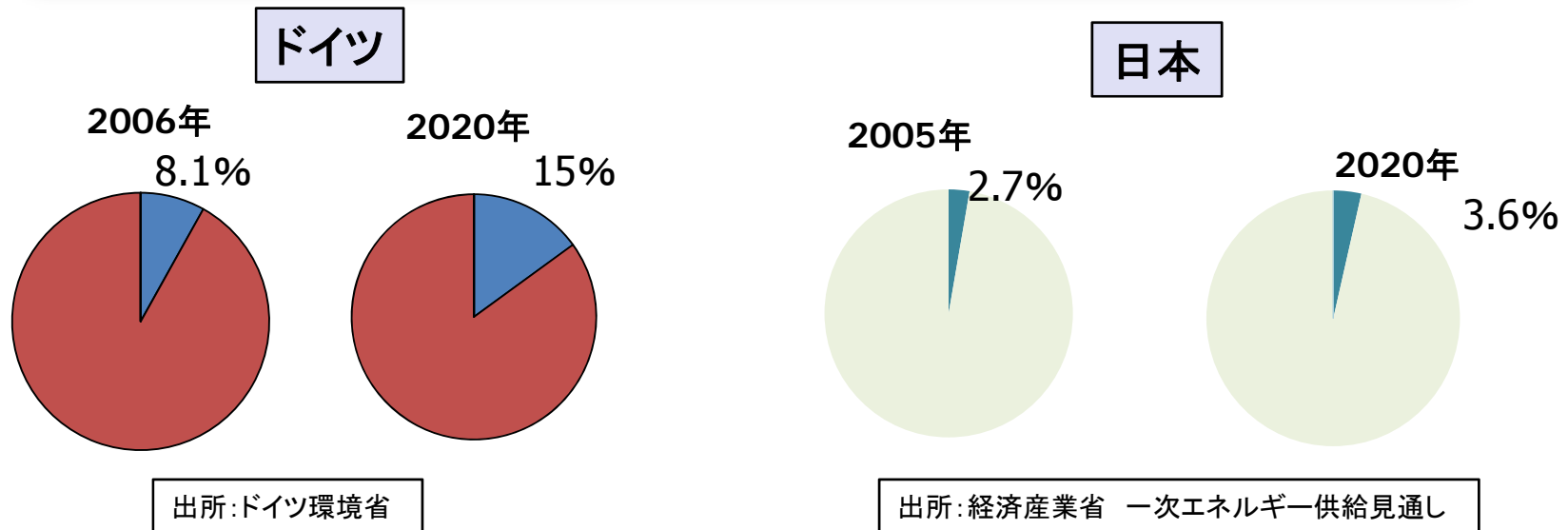
資料：DIW Berlin

日本のクリーン電力の導入目標



やる気を疑われるような低い目標設定である！！

京都議定書の目標達成：やる気がないから達成もおぼつかないのだ！



霞が関のお役人殿：議定書議長国として恥ずかしくないのか？？

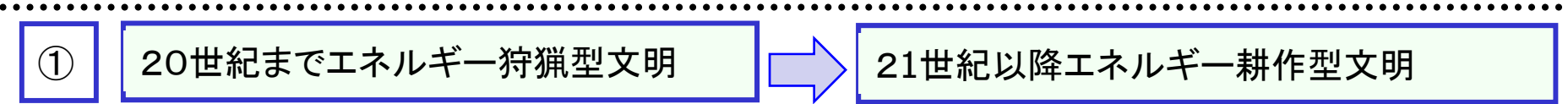
京都議定書発効以前の2004年、わたくしを動かしたドイツで見た看板



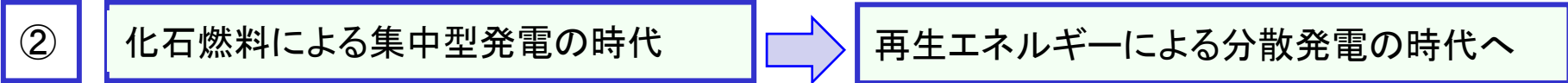
隣人の皆さん。京都議定書の精神は絶えてはいません！

ドイツ SAG社が2006年に建設した当時世界最大(10MW)の太陽光発電所にて

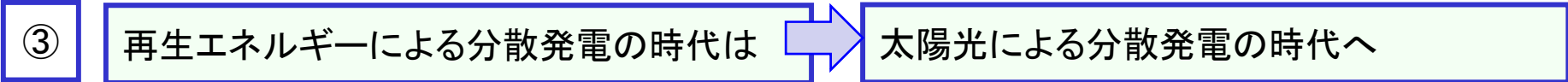
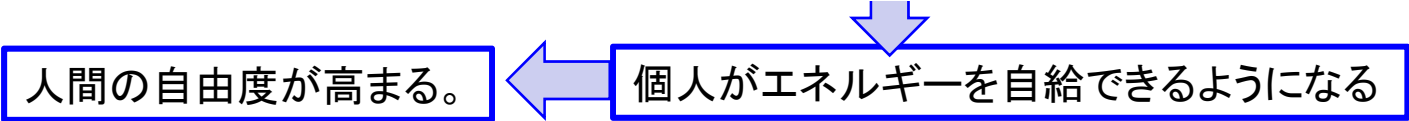
21世紀のエネルギー供給源として 太陽光発電が重要になる理由



- ・化石エネルギーを狩猟(採掘)し、一か所で集中燃焼する文明から
- ・再生可能エネルギーを耕作する文明へ



- ・風力、バイオマス: 巨大な発電所を設置し一か所で集中して発電する方式
- ・太陽光: 大規模集中型 だけでなく 小規模な自家の屋根上で分散発電ができる。

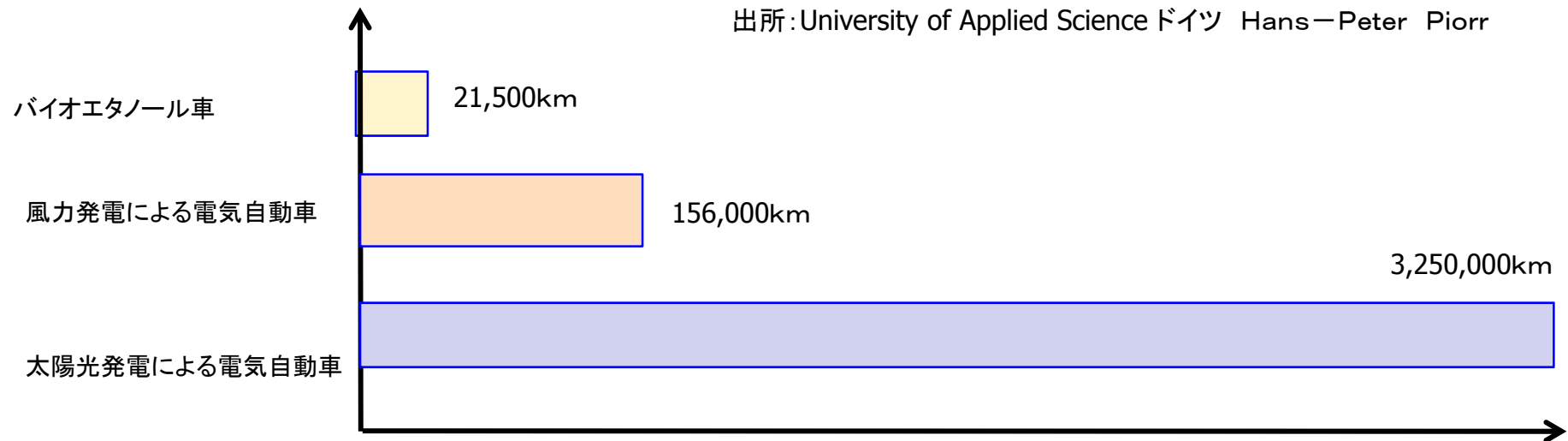


- ・太陽光は風力、バイオマスに比較し2桁ほどエネルギー密度が高いから
- ・風力: 8.3watt/m^2 バイオマス: 1watt/m^2 太陽光: 170watt/m^2

(出所: Energy ---a beginner's guide--- Vaclav Smil 著 P165 Oneworld Oxford Press)
三洋電機ホームページ <http://www.sanyo.co.jp/clean/solar/>)

質問 太陽光による分散発電はどこで行われるのか

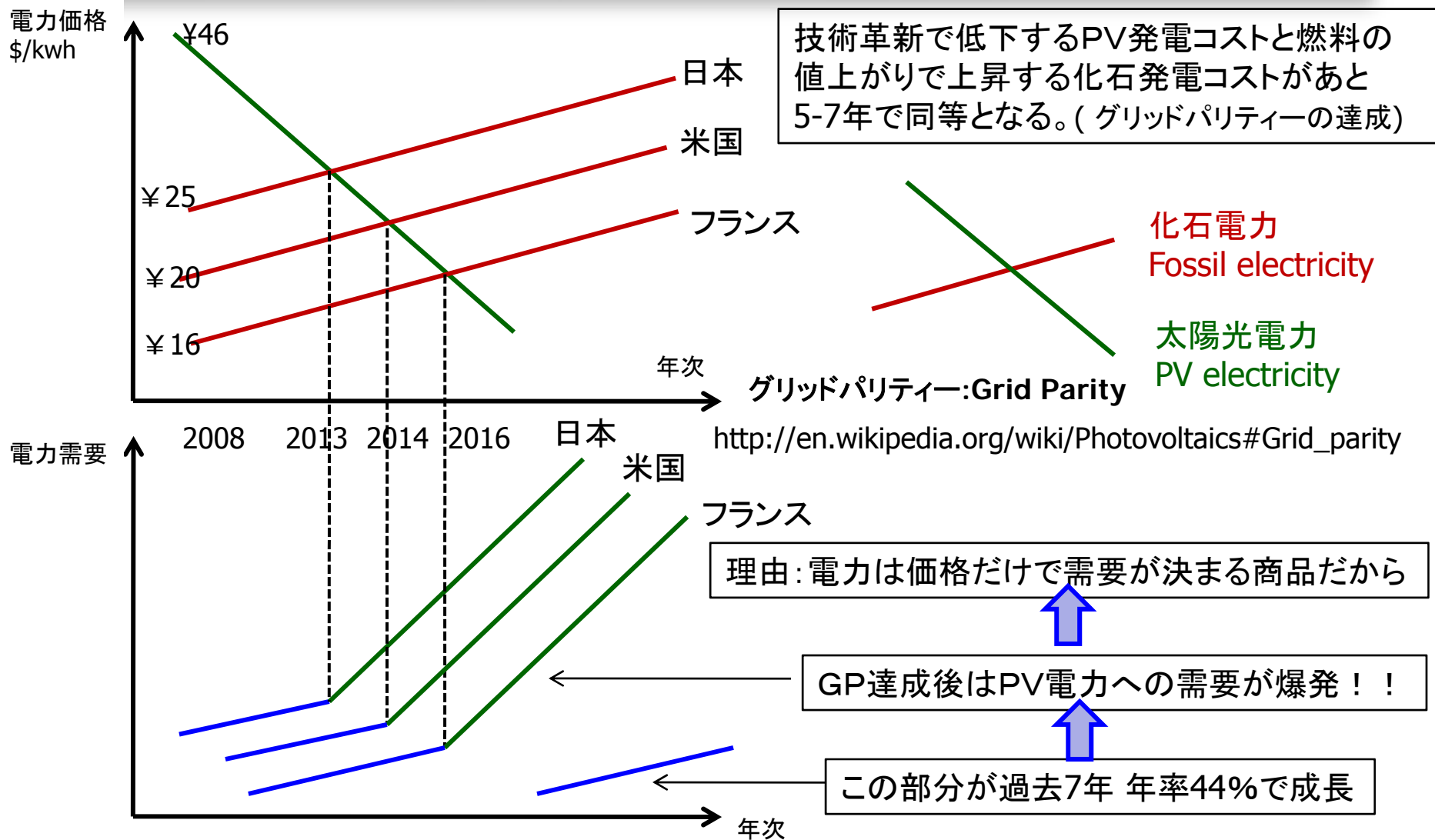
1ha の土地から得られるエネルギーで走れる車の距離



3種類の再生可能エネルギーのうち効率の良い太陽光発電が普及する。

今後4年—6年以内に実現する21世紀のエネルギー革命

A1 …… 先進国の中で日本が最も早くグリッドパリティを達成する。



太陽光発電事業は金融業

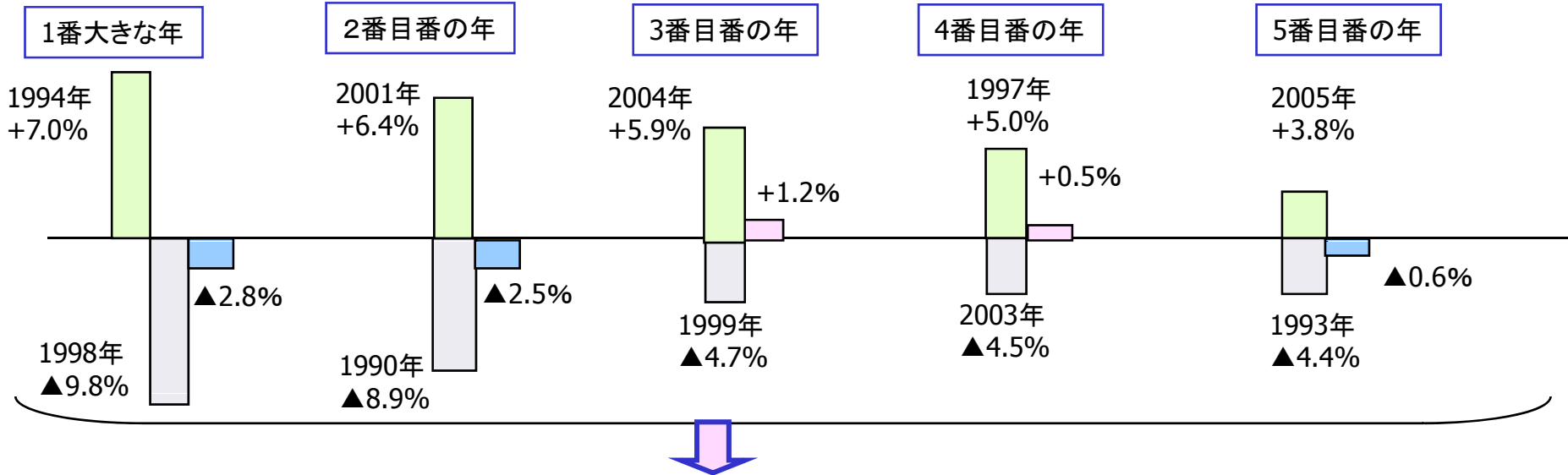
韓国の発電施設建設予定地の過去16年間の日射量の変動の実績

(出所:韓国気象庁)

1990年～2005年の平均値 = 3353kcal/m²·day

年次	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	平均	標準偏差
日射量	3,056	3,317	3,410	3,206	3,587	3,423	3,345	3,522	3,025	3,196	3,408	3,567	3,357	3,202	3,553	3,479	3353	175
乖離率(%)	-8.9%	-1.1%	1.7%	-4.4%	7.0%	2.1%	-0.3%	5.0%	-9.8%	-4.7%	1.6%	6.4%	0.1%	-4.5%	5.9%	3.8%	0%	

平均値から変動幅が大きな年の値の順番に並べると



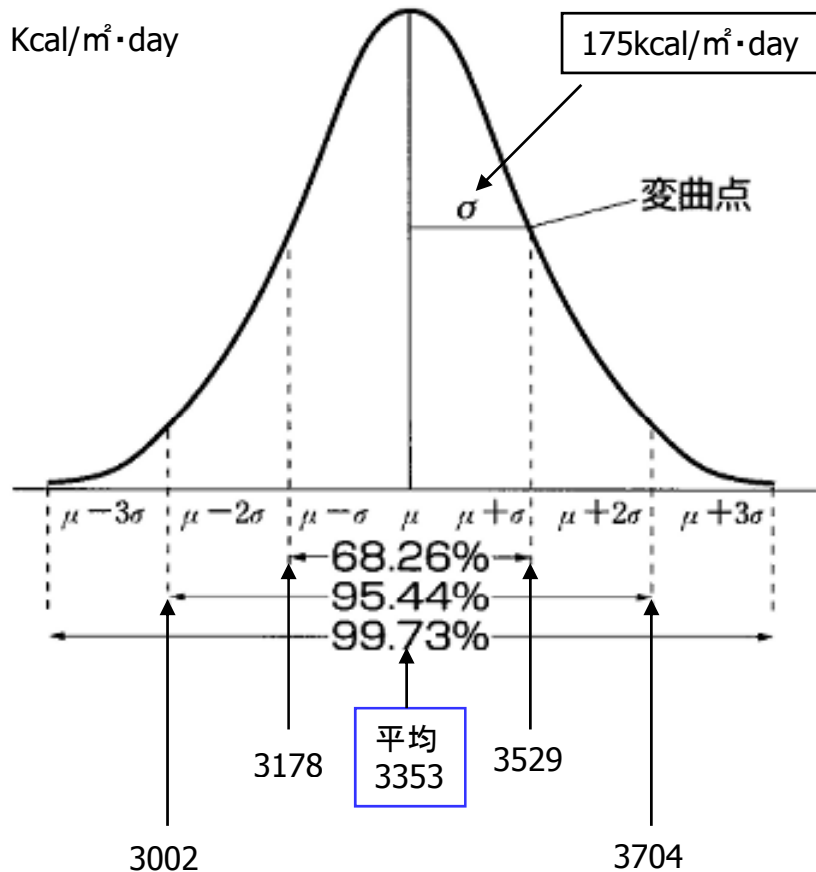
15年間の固定価格買い取りの太陽光発電事業の毎年の収益は+8～▲10%の変動範囲に収まる。

長期間の見通しが立つ極めて安定したビジネス!! しかも生産物(電力)の販売先は全量売約済み

韓国の発電施設建設予定地の過去16年間の日射量の正規分布図との比較

1990年～2005年の平均値 = 3353kcal/m²·day

σ:シグマ:標準偏差 = 175kcal/m²·day



標準偏差175.5の正規分布では	最低	平均	最高
日射量は68.26%の確率で右のレンジにある。	3178	3353	3528
日射量は95.44%の確率で右のレンジにある。	3003	3353	3703

15年間で日射量が悪い年でも3002kcal/m²·day未満になる確率は**2.5%未満**。

ダウンサイドリスクは限定的&ヘッジし易い。

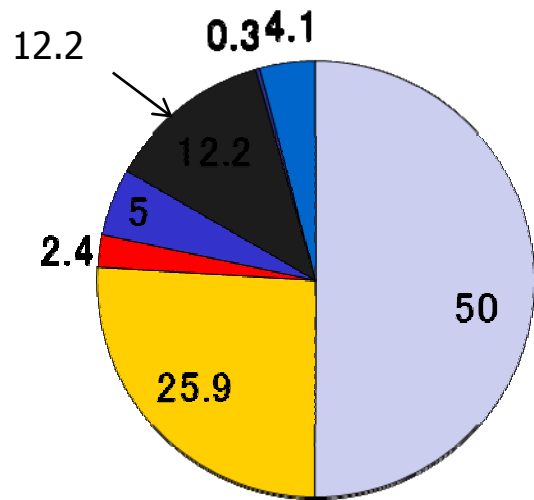
PVの収益の安定性 = 準確定利回り商品 = 年金向けに好適。

標準偏差: 175kcal = 平均値3353kcal の5.2%程度

日本の個人金融資産1500兆円は安定志向-シニア層が大半を保有。安定した収益を生むPV事業はシニア層向け商品として最適

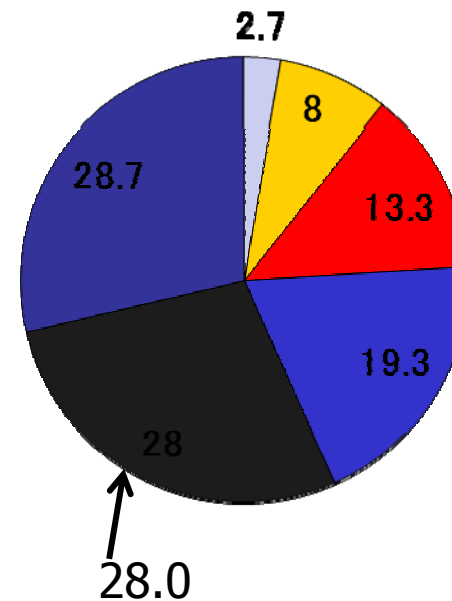
利回り1-2%程度確定利回り商品が78.3%を占める。

50歳以上が76%を保有



- 現金・預金
- 保険・年金準備金
- 公社債
- 投信
- 株式・出資金
- 信託受益権
- その他

出所: 日銀「資金循環勘定」2007年6月末



- ~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60~69歳
- 70歳~

出所: 総務省「家計調査」2006年9月末

50歳以上の方々の最大の関心事



自らの老後の暮らしの安定

人口の老齢化が進行していますから安定した収益を生み出すPV商品の需要は高い。